

第3学年1組 算数科学習指導案

令和5年6月1日（木）第2時限

1 単元 「表とグラフ」（本時6／9）

（1）目標

- ①表やグラフを見て、資料のもつ意味が理解できる。また、資料を表やグラフに表すことができる。
(知識及び技能)
- ②与えられた資料に対して、どのような表やグラフで表すのが適切であるかを判断することができる。
(思考力・判断力・表現力等)
- ③表やグラフに整理することにより資料が分かりやすくなることを知り、進んで使おうとする。
(主体的に学習に取り組む態度)

（2）指導計画（9時間完了）◎…チーム学習を中心に展開する授業

学習内容	教師の活動・意図
<p>◎正の字を使って、人数を整理しよう①</p> <p>○棒グラフについて調べよう②</p> <p>○1目盛りの大きさが1ではない棒グラフについて調べよう③</p> <p>○棒グラフをかこう④</p> <p>◎1目盛りをどれだけにすればよいかを考えて、棒グラフをかこう⑤</p> <p>◎3つの表を1つの表に整理しよう⑥ (本時)</p> <p>◎棒グラフの工夫を読み取ろう⑦</p> <p>◎わかりやすいグラフの表し方を考えよう⑧</p> <p>○学びのまとめをしよう⑨</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表を整理すると分かりやすいことを理解させるために、分類・整理する活動を取り入れる。 ・落ちや重なり、数え間違えなく資料を整理するために、予防策をチームで話し合わせる。 ・棒グラフのそれぞれの要素を理解させるために、①表題、②縦軸、③単位、④1目盛り、⑤横軸、⑥単位、⑦1番大きい数の7項目を毎時間確認する。 ・1目盛りが表している値についてとまどいを感じる児童には、これまでの数直線のよみ方を想起させ、それらをつなげてとらえられるようにする。 ・棒グラフをかく手掛かりとなるように、まずは教科書の手順通り作成し、次は一人でかけるように、順を追って活動させる。 ・適切な1目盛りの大きさを考えさせるために、チームで話し合わせ、ポイントや手順をまとめ提示する。 ・1つの表にまとめるとわかりやすいことを理解させるために、一次元の表を3つ用意し重ね、視覚的に理解できるようにする。 ・日常の二次元の表（時間割、給食献立表など）を想起させ、表のよみ方について理解を深める。 ・複数の棒グラフを組み合わせるよさに気付かせるために、相違点やよさについてチームで話し合わせ、様々な考えに触れられるようにする。 ・目的にあった目盛りのつけ方について考えるために、2つのグラフを比較し気付いたことをチームで話し合わせ、意見を共有する。
<p>〈チーム学習を通してめざす子供の姿〉 他者と関わり合いながら主体的・対話的に学習に取り組み、身の回りの事象について表や棒グラフを用いたデータの分析・整理の仕方を理解し、日常生活や学習に活用しようとする姿。</p>	

2 本時の学習指導

(1) 目標

- ①二次元の表に対して、いろいろな見方（縦軸、横軸、交差）から、そのよさについて考えることができる。
（思考力・判断力・表現力等）
- ②表のよみ方や1つの表にまとめるよさについて、チームの友達に進んで伝えたり、聞いたりしようとすることができる。
（主体的に学習に取り組む態度）

(2) チーム学習のイメージ（考えを深めるチーム学習）

本時では、二次元の表を考える場面でチーム学習を取り入れる。二次元の表をよむだけではなく、1つの表にまとめることでそのよさについてチームで教え合い、全ての児童が分かる喜びを味わうことができる活動にしたい。また、分かったことをチームの友達に伝え合うことで、自分の気付かなかった意見を知り、考えを深める姿を期待している。

(3) 展開（太字アンダーラインは、ファシリテータとしての動き）

段階	学習活動	教師の活動と手だて
つかむ (10)	1 教科書84ページの①の問題文を読み、題意をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">3か月でけがをした人数を、場所ごとに調べましょう。</div> ・3つの表だと分かりにくいね。分かりやすくする方法はないかな。	・問題を提示する。 ・3つの表では、場所ごとの合計人数がわかりにくいことを実感させるために、「校庭では?」「廊下では?」と場所を指定して考える場を設定する。
みかく (30)	2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">3つの表を分かりやすく表す方法を考えよう</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">ゴール：分かりやすい表を完成させ、そのよさに気づくことができる</div>	・課題とゴールを提示する。
	3 3つの表をまとめることの意味を理解し、教科書84ページの②の問題に取り組む。（一人学習） ・1番右の欄に、もう1つ合計があるよ。 ・縦にたしても、横にたしても合計が同じになるはずだね。	・表のよみ方について理解を深めるために、教室内の二次元の表（時間割、給食献立表など）に目を向けるよう助言する。 ・1つの表にまとめると分かりやすいことを理解させるために、一次元の表を3つ用意し重ね、視覚的に理解できるようにする。
	4 ③の確認、④、⑤の問題、発展問題に取り組む。（チーム学習） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">④ 3か月で、廊下でけがをした人数の合計は何人ですか。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">⑤ 3か月で、けがをした人数の合計は何人ですか。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">発展問題 ①3か月で、けがをした人が1番多い場所はどこですか。 ②3か月で、けがをした人が2番目に多い場所はどこですか。</div>	・1つの表にまとめたものには、 <u>横軸の合計欄が示されていないことに気付いた児童の意見を取り上げ、合計欄に注目できるようにする。</u> ・ <u>二次元の表について考えることができるように、どの項目を見ればよいか、表を指でなぞって説明している児童を取り上げ、全体の場で紹介する。</u> ・1つの表の合計欄に着目できるように発展問題を出題する。

振り 返る (5)	<p>5 1つの表にまとめることで、どんなよさに気づいたかチームで考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ばらばらの表よりも、見やすい。 ・1番多いけがは、どこの場所かが分かりやすい。 <p>6 本時のふりかえりをする。(ゴールの確認)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表を1つにまとめると、より見やすくて、<u>比べやすくなりました。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>3つの表と1つにまとめた表を見比べさせることで、3つの表にはない1つの表のよさに気づかせる。</u> ・話し合いが進まないチームには、「1つの表の方が〇〇です。」と話型を示し、良さを見つけられるように助言する。 ・本時のふりかえりをノートに書くように指示する。
-----------------	--	--

(4) 評価

- ①二次元の表について、合計の項目について考えたり、表の項目を指でなぞって説明したりすることができたか。 (活動4, 5の様子から)
- ②チームの友達と積極的に関わりながら、表のよみ方や1つの表にまとめるよさについて進んで伝えたり、聞いたりしようとしていたか。 (活動4, 5の様子から)